

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	目安箱	持ち運び型防暑遮光ハウス	炎天下での農作業用に、徳島県農業大学校が太陽光発電でミスト扇風機を稼働させる持ち運び型防暑遮光ハウスを開発試作したそうだが、農業用とともに子供たちの野外でのスポーツ用に試作実験できないか。	<p>今回開発した防暑ハウスは、市販されている汎用品を活用して製作できるもので、場所に応じた安全対策によりスポーツ等野外活動に広く利用できるものと考えている。</p> <p>県では、製作方法のホームページでの公開や石井町の農林水産総合技術支援センターでの常設展示などを行っているところであり、今後とも様々な機会を通じて実証展示や防暑効果のモニタリングを行い、幅広い利用につなげて参りたい。</p>	農林
2	目安箱	照明の100%LED化	徳島県はLED先進県として全国、いや全世界の模範になるべく、照明のオールLED化を宣言してはどうか。少なくとも役所や公的機関で使用する照明のLED化を実行して、電気の節約ができないか。	<p>本県では、「車両用の矢印信号機」及び「歩行者用信号機」のLED化100パーセントを全国に先駆け達成しており、また、県管理道路の照明については、県内企業が開発した「あわ産LED道路照明灯」を本格導入し、老朽化対策と併せてLED化を推進している。</p> <p>更に県本庁舎の照明のうち、水銀ランプ及び白熱電球については、平成25年度末までに全てのLED化を実施したところであり、今後とも可能な範囲でLED照明を導入したいと考えている。</p> <p>LED先進県として、今後とも「LEDと言えば徳島！」の地域ブランド確立に向け、産学官が一体となって、照明をはじめとする県産LED応用製品の普及を加速化させ、節電や環境負荷の低減、低炭素型社会の構築に更に積極的に取り組んで参りたい。</p>	商工 経営 県土 警察

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
3	目安箱	県内の棚田の愛称を「ライスガーデン」に	カンボジアやタイでは、棚田の周辺にカフェや飲食店、ホテルがある。 棚田の愛称を「ライスガーデン」として、美郷や上勝の棚田を世界に発信し、米を中心に徳島の食材が食べられる飲食店が棚田に集えればよいと思う。	県では、これまでに棚田地域を含む中山間地域の保全・活性化を目的として、都市住民等がこれらの地域で農作業体験や地元の食材を活かした郷土料理などを楽しめる「農家民宿」の設置を進めてきた。 また、棚田をはじめこれら施設の場所や見どころ、体験メニューなど詳細情報を紹介したHPやパンフレットなども整備し、棚田のPRに加え「農家民宿」の利用促進にも努めてきた。 本年度においても、「農家民宿」の外部発信やインバウンドへの対応を目的とした研修会などを開催し、中山間地域の保全・活性化を進めて参りたい。	農林
4	目安箱	公共交通機関利用促進のために	バスや汽車に自転車を乗せられるようにすれば、出発駅まで自転車で行くことができ、さらに着いた先から好きなところに自転車で行けるので、出勤するのにも汽車が利用しやすくなると思う。	路線バスや鉄道車両への自転車の積み込みは、他の乗客や荷物へのオイル・泥等の付着防止や安全面での配慮から、一般的に「輪行袋」に収納可能な折りたたみ自転車等に限って「手回り品」として持ち込み可能となっている。 一方、通常タイプの自転車の積み込みは、定時運行の確保や積載スペースの制約から、混雑する通勤・通学時間帯には運行できないなど課題が多く、本県では導入が進んでいない。 なお、JR四国は、現在予讃線と予土線において行楽シーズンの土日祝に「サイクルトレイン」を運行している。一定の需要が見込めれば、本県での運行についても打診して参りたい。	県土

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
5	目安箱	高齢者移住を地方創生の柱に	<p>都会に住んでいる年金生活の高齢者に移り住んでもらうのが、徳島の人口減を食い止める現実的な方策だと思う。年金生活なので、働く場所は必要なく、また、福祉関係で若者の雇用が創出され、さらに、徳島は都会より家賃が安いので、移住者にとってもメリットがあると思う。</p>	<p>本県においては、地域の活性化や雇用の場の確保などを図るため、県出身者や勤務経験がある「本県ゆかりの高齢者」の移住促進に取り組んでおり、平成26年度には、東京在住高齢者に対する「移住の意向調査」や「体験モニターツアー」などを実施したところである。</p> <p>超高齢社会の中、高齢者の就労（活躍）の場の確保など受け皿づくりについて、今後、有識者会議などで具体的なアイデアや意見を伺いながら、「徳島型CCRCの構築」に向け、取組みを進めていくことが重要であると考えている。</p>	保健
6	目安箱	NHK ジャーナルを聞いて	<p>徳島県神山町のITを活用した取組みは、地方創生に深く寄与するものであり、特に被災地の復興にも有効なものと思うので、この徳島県の取組みを地方再生モデルとして広め、推進していただきたい。</p>	<p>神山町のITを活用したサテライトオフィス誘致や首都圏から地方への移住促進の取組は、地方創生を先導するモデルとして全国から注目されており、この取組みをベースに総務省の「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」が創出され、本県からは鳴門市をフィールドとした事業が採択されたところである。</p> <p>全国から注目されているこの取組みが、県内の市町村にも広がるように市町村と連携して推進して参りたい。</p>	政策

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
7	目安箱	県民の誇りの回復と観光促進のために	徳島は自動車であることを恥じず、全国にもっとアピールするべきではないか。 眺望の雑木林などの手入れの徹底、最先端のおもてなしの取り組み、駅弁、県産野菜などのフレッシュジュース、鳴門金時の焼き芋や、立ち食い徳島ラーメン屋等々観光に向けた取り組みを促進して欲しい。	<p>自動車の活用としては、例えば昨年度は、徳島線全線開通100周年を記念し、徳島線全線を1日かけてゆっくり巡るスロー列車「徳島線花(とくしませんか)号」がJR四国によって運行され、沿線自治体の協力による途中駅での食やおもてなしなど県民の方をはじめ参加者に大好評を頂いた。また、コンサートと観光を楽しむ「ジャストレイン」なども行ったところである。</p> <p>今後とも鉄道事業者と連携しながら企画列車の運行をし、四国の鉄道活性化や観光客の増加に努めて参りたい。</p>	県土
8	目安箱	津波避難所の表示	南海トラフ巨大地震の被害想定を受けて、県内にはたくさん津波避難所ができており、自宅近辺の避難所は把握しているが、通勤途中に地震がきたら、避難場所が分かりにくいいため、主要国道、県道に避難場所の表示があれば、いざというときに迅速に避難できると思う。	<p>国道や県道においては、道路利用者や沿道住民の皆様の方の防災意識を高めるとともに、地震・津波発生時の避難行動に活用してもらうことを目的に、大型標識柱などの道路施設に「海拔情報を表示するシール」を設置しており、今後とも、シールの設置をすすめ、きめ細かく海拔情報を提供できるよう取り組んで参りたい。</p>	県土危機
9	わくわくトーク	移住者への情報発信	徳島を移住や就農の候補地としたい人達に、眠ってる空き家や耕作放棄地の情報が届くシステムを県一丸でできれば、家や土地や町が蘇るのではないか。	<p>県においては、専任のコンシェルジュを配置し、移住希望者等の相談にきめ細く応じる「ワンストップ窓口」として、「とくしま移住交流促進センター」を開設したところであり、仕事や空き家、暮らしなど、必要とされる情報を的確に届けることができるよう努める。</p> <p>また、県の移住ホームページを全面リニューアルし、「全国移住ナビ」や農地情報を公開している「全国農地ナビ」との相互連携を図り、県内市町村の移住支援情報を一元化するなど、工夫を凝らした魅力ある情報発信に努める。</p>	政策

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
10	知事・市町村長会議	米や地域の特産品の海外戦略等について	<p>昨年の米価は、農業の根幹を揺るがすほどの低迷であった。国の政策では飼料米、加工米への転換ということであるが、徳島の米はおいしいと思うので、飼料米とするのではなく、余った米を海外戦略として主に中国やシンガポールの富裕層へ販売できるように、市町村とともに取り組んでもらいたい。</p>	<p>本県では、需要に応じた米生産のため、飼料用米の作付けを推進するとともに、県産の主食用米の需要拡大にも併せて取り組んでいるところである。</p> <p>この一環として、「米」の海外輸出の取組みを進めており、引き続き「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」に基づく輸出拡大を推進して参りたい。</p>	農林
11	パブリックコメント（アイデア募集型）	小学生にタブレット端末を	<p>全国一の光ファイバー網をアピールし、徳島ならではの特色ある人材を育成するため、小学校で、一人一台のタブレット端末を採用してはどうか。</p>	<p>学校内の教室LAN整備率(全国2位)など、本県が誇る日本屈指のインターネット環境については、vs東京の「徳島宣言」などを通して、積極的にアピール活動を展開している。</p> <p>また、学校におけるタブレット端末の整備については、国の第2期教育振興基本計画において目標とされる水準(1校当たり40台)に基づき、県内の小学校においても計画的に導入が進められているところである。</p> <p>こうした中、本県の強みである快適なインターネット環境のもと、タブレット端末などのICT機器を効果的に活用した学習活動が更に充実するよう、今後とも、市町村と連携し、児童生徒のICT活用能力の育成に向けた取組みを積極的に進めて参りたい。</p>	教育